❶ 機　　種

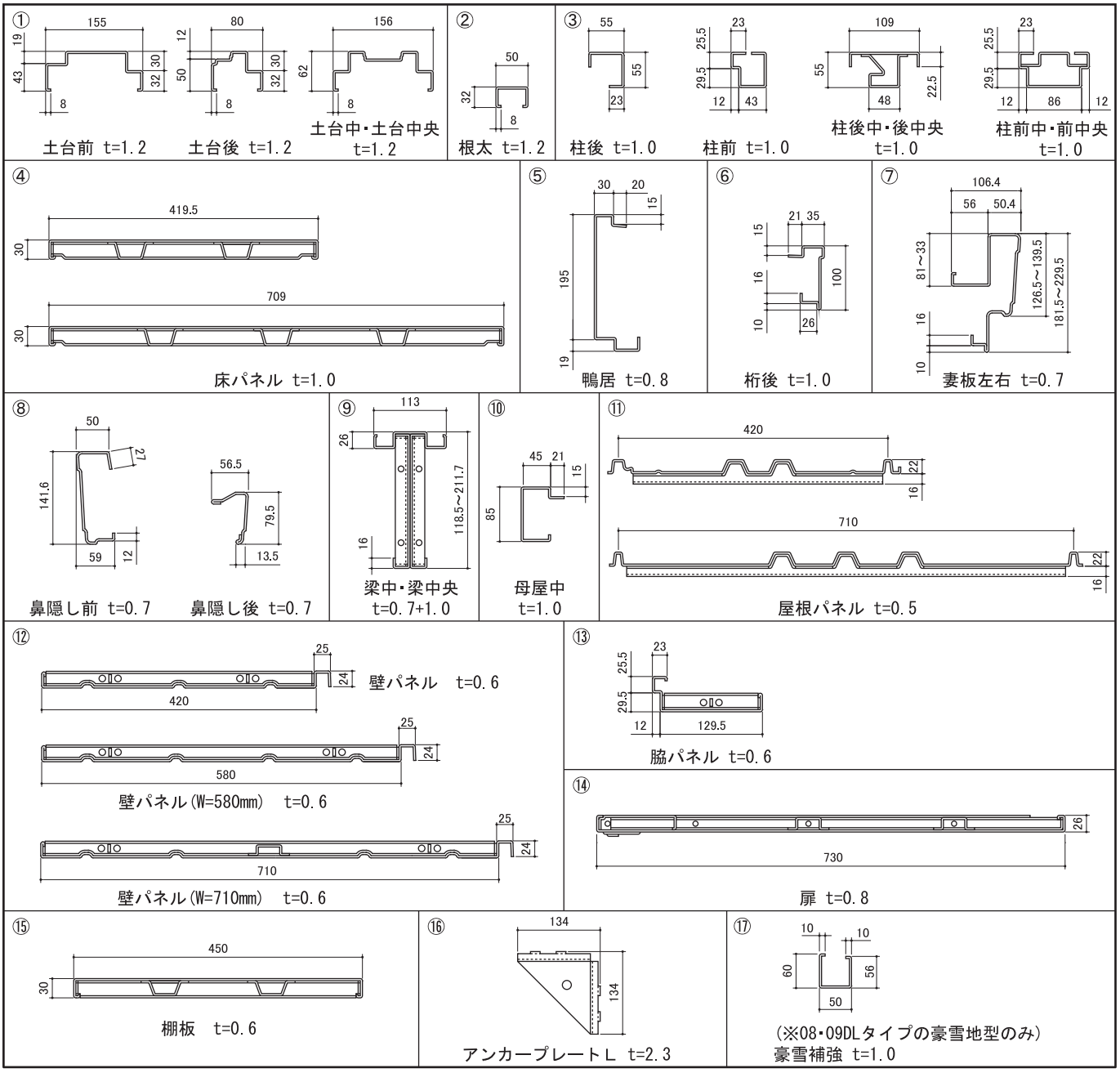
NO.	機　　種	床　面　積	間　口	奥　行	積　雪　強　度
1	NXN-08DL	N×0.78㎡(0.24坪)	820mm	950mm	【※１】
2	NXN-11DL	N×1.12㎡(0.34坪)		1370mm	・ 一般型･多雪地型･豪雪地型共通仕様：4500N/㎡
3	NXN-12DL	N×1.25㎡(0.38坪)		1530mm	安全の為、1.3m以上積もらないように雪降しをして下さい。
4	NXN-09DL	N×0.90㎡(0.27坪)	950mm	950mm	【※１】
5	NXN-13DL	N×1.30㎡(0.39坪)		1370mm	・ 一般型･多雪地型･豪雪地型共通仕様：4500N/㎡
6	NXN-14DL	N×1.45㎡(0.44坪)		1530mm	安全の為、1.3m以上積もらないように雪降しをして下さい。

【※１】
・一般型･多雪地型共通仕様：3100N/㎡
・豪雪地型：4500N/㎡
（安全のため、一般型･多雪地型は 1m以上、豪雪地型は 1.3m以上積もらないように雪降しをして下さい。）

❷ 主要部材仕様

品番	主要部材	材質	呼び厚さ(mm)
①	土台枠	溶融亜鉛めっき鋼板/F12(JIS G 3302)	1.2
②	根太	〃	1.2
③	柱	〃	1.0
④	床パネル	〃	1.0
⑤	鴨居	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板/Y10(JIS G 3317)	0.8
⑥	桁後	〃	1.0
⑦	妻板左右	〃	0.7
⑧	鼻隠し前後	〃	0.7
⑨	梁中・梁中央	溶融亜鉛めっき鋼板/F12 + 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板/Y10	0.7+1.0
⑩	母屋中	溶融亜鉛めっき鋼板/F12(JIS G 3302)	1.0
⑪	屋根パネル	溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板/Y10(JIS G 3317)	0.5
⑫	壁パネル	溶融亜鉛めっき鋼板/F12(JIS G 3302)	0.6
⑬	脇パネル	〃	0.6
⑭	扉	〃	0.8
⑮	棚板	〃	0.6
⑯	アンカープレートL	〃	2.3
⑰	※豪雪補強	〃	1.0

※印は08･09DLタイプの豪雪地型のみ



❸ その他の部品仕様

部品名	材質	表面処理・色
ボルト	冷間圧造用炭素鋼線材(SWRCH 10R)	電気亜鉛めっき　Ep-Fe/Zn [4-C2]
ネジ板	冷間圧延鋼鈑	
棚フック	冷間圧延鋼鈑	
把手	ＡＥＳ樹脂	ファインシルバー
ガイドリング	ＡＥＳ樹脂	ファインシルバー
錠	亜鉛合金ダイカスト　２種	ニッケル-クロムめっき Ep-Zn/Cu+Ni,Cr[10]
鍵	黄銅板(C2801P-H)	ニッケルめっき Ep-Bs/Ni[5]
妻板キャップ	アルミニウム合金ダイカスト 12種	ミストグレー(成形後、塗装)
換気ガラリ	ＡＥＳ樹脂	ミストグレー
ボルトキャップ	ＡＥＳ樹脂	ミストグレー
ヒンジ	ステンレス鋼板(SUS304)	――
ラッチ	ポリアセタール樹脂	――

❹ 表面処理及び塗装

(1)　塗装する素地は下地処理をするものとし、脱脂、水洗工程を経て燐酸亜鉛皮膜を形成します。
(2)　塗装は高性能ウレタン樹脂を使用し、静電塗装後熱風乾燥炉にて焼付けます。
(3)　膜厚及び塗装色は下表に示す通りです。

塗装部品	膜厚		塗装色(マンセル番号)
	屋外面	屋内面	
土台枠(※)	30μm以上	25μm以上	ミストグレー(N7)
根太(※)	25μm以上	20μm以上	
柱	30μm以上	25μm以上	
床パネル(※)	25μm以上	〃	
屋根パネル(※)	30μm以上	〃	
梁中・梁中央(※)	〃	〃	
母屋中(※)	――	20μm以上	
壁パネル	30μm以上	25μm以上(※)	
棚板(※)	――	20μm以上	
アンカープレート(※)	25μm以上	――	
鴨居	30μm以上	25μm以上	
桁後	〃	〃	
妻板左右	〃	〃	
鼻隠し前後	〃	〃	
脇パネル	〃	〃	プレミアムグレー(一)
扉	〃	〃	

※印の塗装は、アクリル樹脂を使用

❺ 耐久性

◎塗装面

(1) 硬さ試験	硬度2Hの鉛筆引っかき試験(JIS K 5600)に耐えること。
(2) 付着性試験	100/100碁盤目試験(JIS K 5600)に耐えること。
(3) 耐おもり落下性試験	撃芯直径12.7㎜に500㎜の高さから500gのおもりを落とす耐おもり落下性試験(JIS K 5600)に耐えること。
(4) 耐塩水性試験	約20℃の3%の塩水に100時間浸す耐塩水性試験(JIS K 5600)に耐えること。
(5) 耐食性試験	5%の塩水噴霧試験法(JIS Z 2371)に500時間耐えること。
(6) 耐候性試験	サンシャインウェザーメーターによる促進暴露試験(JIS A 1415)で300時間の照射に耐えること。

◎扉の可動

(7) 耐久性試験	扉は、開閉繰返し性試験(JIS A 6603)に耐えること。 錠には、雨水およびホコリの浸入防止カバーを取り付け長期の使用に耐えること。